

「美瑛町共有ビジョン」に対してお寄せいただいた御意見と美瑛町の考え方

○募集期間：令和3年8月16日（月）から令和3年9月16日（木）まで

○意見提出者：8名（個人8名）

「美瑛町共有ビジョン」に対する御意見について公表します。御意見は基本的に原文どおり掲載させていただきますが、一部読みやすくするためや、個人情報保護の観点などから修正・割愛等をさせていただきます。

○御意見と町の考え方

①「美瑛町共有ビジョン」について

|       |   |
|-------|---|
| 御意見   | <p>共有ビジョン（案）策定業務、お疲れ様でした。広報、及びホームページの掲載だけではなく、共有ビジョン（案）が作られるまでをまとめた冊子によってワークショップメンバーの想いや短い文章の中にたくさんのメッセージが込められているのだと感じられました。</p> <p><u>共有ビジョンに上下や、順位はないのかもしれませんが最後に掲げられている「すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち」が根幹のように感じられました。</u><sup>(1)</sup></p> <p><u>また、「誰もが健康でともに支えあい、安心して住み続けられるまち」には福祉・医療の他に生活保障（経済基盤）も重要な要素であると考えますが「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」など、他の項目に含まれているのでしょうか。</u><sup>(2)</sup></p> <p><u>最後に、ワークショップ構成メンバーの女性参加率が低く、一部のグループで女性の意見を反映させる取り組みをしてくださいました。今後も同様のワークショップや、委員会等の参集にあたっては当初から配慮いただけると偏りのない意見が出るのではないかと感じました。</u><sup>(3)</sup></p> <p>町長のコメントにあるように、この共有ビジョンをただのスローガンにすることなく、政策に落とし込み、実行していかなければならないと強く感じました。</p> |
| 町の考え方 | <p>(1)「美瑛町共有ビジョン（案）」（以下「ビジョン」という。）では、美瑛町の将来の「ありたい姿」を7つの目標として掲げておりますが、それぞれの優先順位は特に決めておりません。今回公表したビジョンにつきましては、まちづくりにおける最上位計画である「美瑛町まち</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>づくり総合計画」(以下「総合計画」という。)の基本計画に示されている分野順に並べております。このビジョンは、来年度策定予定の新たな総合計画の柱として位置づける予定ですので、策定の際には目標の掲載順序についても検討してまいります。</p> <p>(2)「誰もが健康でともに支えあい、安心して住み続けられるまち」の目標の説明文に「充実した保健福祉と医療を受けられる体制が確保され、みんなで声をかけあい健やかに暮らせるまち」とありますが、御意見のあった社会保障の分野については、この説明文の中に含まれていません。美瑛町共有ビジョンまちづくりワークショップ(以下「ワークショップ」という。)の第2回有志チーム会議(冊子P8参照)の中で、本件について議論され、まちの福祉分野を簡潔かつ包括的に表現できる言葉を選びました。</p> <p>(3)ワークショップの参加者は、公募により集まった23名のメンバーで構成されますが、女性の割合は全体の約3割となっています。</p> <p>第2回ワークショップ(冊子P4参照)では、SDGsで示されている「誰一人取り残さない」を理念とし、できるだけ多くの町民の皆さんの意見をビジョンに反映させられるよう、ワークショップ参加者による「町民インタビュー」を行いました。</p> <p>また、子育て世代の方にも安心して参加いただけるよう、ワークショップ会場である役場庁舎内における託児ルームの設置や、都合により当日来場できない方に対応するため、オンラインでの参加を可能とする環境整備も図ってきたところです。</p> <p>今後も、町民の皆さんが集まる会議やワークショップ、イベント等において、多様な方々に参加していただけるよう体制の充実を図るとともに、わかりやすい周知に努めてまいります。</p> |
|--|---|

## ②「美瑛町共有ビジョン」について

|     |   |
|-----|---|
| 御意見 | <p>(1)共有ビジョンの中身は、美瑛町の移住パンフレットに載せてもいいほどよい内容だと思います。ただ、「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」は漠然としているので、芸術とか創発とか働くよろこびといったキーワードを含めてはどうでしょうか。</p> <p>(2)政策の指針に関わる部分に町民が参加したことは画期的で、よかったですとおもいます。また、この素案は未完成で、町民コメントの意見を</p> |
|-----|---|

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>いれて完成するとした点も、評価します。</p> <p>(3) この共有ビジョンを「まちづくり総合計画」に紐づけて完成させる道筋や、町民参加の予定など、もう少し関連の説明があってもよかったとおもいます。</p> <p>(4) ここに掲げた20年後の共有ビジョンは高い目標なのか普通なのか、わかりにくいとおもいます。外部環境が変化するなか、このままパターンで行くとビジョンとのギャップがどうなるか、いまより努力が必要なのか、といった視点は要らないのでしょうか？</p>  |
| 町の考え方 | <p>(1) 「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」の目標には、町民のチャレンジを応援する意味のほか、起業促進、移住者支援、地域資源のブランド力向上など、様々な要素が含まれておりますが、町民の皆さんにわかりやすく読んでいただけるよう簡潔な言葉を使用しています。</p> <p>今後、ビジョンの実現に向けた具体的なプロジェクトを検討するため、第2期ワークショップを開催する予定ですので、その中で御意見のあったキーワードについても検討してまいります。</p> <p>(2) 御意見の内容につきましては、概ね町の進め方について同意いただいたものと考えております。</p> <p>(3) このビジョンは、来年度策定予定の新たな総合計画の柱として位置づける予定であり、第2期ワークショップで検討する具体的なプロジェクトを基に、ビジョンを実現するための「政策・施策」の部分を作り上げていくこととなります。</p> <p>また、総合計画の策定までの進捗状況や町民参加の機会につきましては、町ホームページや広報、SNS等で随時お知らせしてまいります。</p> <p>(4) 今回のビジョンは、現状立脚型ではなく、まちの「ありたい姿」を描くことから始めるバックキャストिंगのアプローチでビジョンを作成しています。</p> <p>現状と目標とのギャップを埋めるための具体的なプロジェクトは、第2期ワークショップで検討してまいります。</p> |

③「美瑛町共有ビジョン」について

|              |  |
|--------------|--|
| <p>御意見</p>   | <p>(1) すべての人の居場所～(中文)・人と人がつながりあい(美瑛独自の)多様性を尊重し～</p> <p>(2) 子供の見守りとして8015運動(子供達が登下校する時間帯に町民が外掃除や花の手入れ、散歩など、外に出てあいさつ、声かけする活動)</p> <p>(3) 誰もが健康でともに支えあい～と、～すべての人の居場所～の部分で共生型社会として、赤ちゃん～お年寄りが一緒に生活したり活動する。共生型GH(グループホーム)やシェアハウスを創りたい!!その為に協力を!!</p> <p>(4) 多様性の意味などを※で誰にでも分かりやすく。共生型社会も入れるなら※で誰にでも分かりやすく。</p> <p>ビジョンの(案)は、(美瑛独自)以外は、すごく皆さんで考えていて、とても良いと思います。</p> <p>この後どんな事ができるのか?行政としてできる事、できない事など、まだまだ発見できそうですね。是非、協力をお願いします。</p> |
| <p>町の考え方</p> | <p>(1) 御意見のとおり、ビジョンを作成するに当たり、美瑛町の独自性を表現するため「他のまちにはない美瑛町らしさ」を意識しながら議論を行いました(冊子P9参照)。</p> <p>(2) 御意見の内容につきましては、関係課と共有させていただきます。</p> <p>(3) 御意見の内容につきましては、関係課と共有させていただきます。</p> <p>(4) 「多様性の尊重」については、ワークショップ当初から議論されてきたテーマの一つであり、SDGsの視点にも関連することから、今回作成したビジョンに明記しています。このテーマに関する具体的なプロジェクトについては、第2期ワークショップや新たな総合計画策定の際に検討してまいります。</p>   |

④「美瑛町共有ビジョン」について

|       |  |
|-------|--|
| 御意見   | <p>案作りに参加しましたが、時間をおいてあらためて見直してみると、ビジョンとなる一文はもう少しコンパクトな方が伝わりやすいのではという気がしています。ビジョンに含まれている言葉と同じような言葉で説明しているものについては、とってしまってもいいのでしょうか。</p> <p>(例) ライフラインが確保され、災害に負けない強さとしなやかさを備えるまち→災害に負けない強さとしなやかさを備えるまち</p> <p>(例) すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち→すべての人が希望を持って笑顔で暮らせるまち</p>  |
| 町の考え方 | <p>ビジョンの作成は、①テーマに沿って意見を出し合う、②グルーピングをする、③ビジョンとなる一文を考える、という作業工程で行なわれ、ワークショップメンバーの皆さんには多くの一文を考えていただきました(冊子P6～8参照)。</p> <p>ビジョンの一文には、ワークショップの中で生まれた様々な意見やアイデアに加え、「町民インタビュー」で集めた皆さんの声もり盛り込まれておりますので、最初に作成した一文は長い文章となりましたが、ワークショップを進める中で、簡潔で読みやすい言葉を選びながら、町民の皆さんにわかりやすく伝えられるようブラッシュアップしてきました。</p> <p>御意見の内容につきましては、第7回ワークショップにて共有させていただきました。</p> |

⑤「美瑛町共有ビジョン」について

|     |   |
|-----|---|
| 御意見 | <p>町づくりWSに参加している者です。素案作りに関わったのに、異なる意見で申し訳ないのですが、どうしても納得できず意見を出しました。</p> <p>国や道がやるべきことと、美瑛でできることは違うと思うのです。もっと身近に自分たちでできることを中心に目標を掲げたいのです。</p> <p>見栄えの良い言葉を並べるだけでは日々の生活が変わって行かないのは今までも感じたところです。</p> <p>私が夢として持っているのは・・・芸術文化を高めたい。TVではなく</p> |
|-----|---|

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>本を読む町民を増やし、哲学すること。美瑛をオーガニックな町にすることなどなどあります。</p> <p>若者は相変わらず、学校や職業を求めて町を出ています。</p> <p>みんなの笑顔を増やしたい！！</p>   |
| 町の考え方 | <p>ビジョンは美瑛町の「ありたい姿」を描き、実現するために掲げるものであり、まちづくりにおける最上位計画となる総合計画の柱として位置づける予定です。</p> <p>ワークショップの前半では、美瑛町のことについて様々な角度から参加者の皆さんに意見を出していただきましたが、まちづくりを進めるに当たっては、自治体間の連携や企業・大学との連携、美瑛町の取り組みを応援してくださる方々との協働など、多様な関係性のあり方を検討していかなければなりません。</p> <p>ワークショップの後半では、美瑛町のことを考える上で、「①北海道、日本、世界の一員としてのまち、②時代と社会の要請に応えられるまち、③SDGsの視点」、の3つを意識して議論を進めるよう講師からのアドバイスもあったことから、より広い視野を持ってビジョンの作成を進めてまいりました。</p> <p>御意見の内容につきましては、第7回ワークショップにて共有させていただきました。</p> |

#### ⑥「美瑛町共有ビジョン」について

|     |  |
|-----|--|
| 御意見 | <p>美瑛町の20年後を想定して、長期間にわたり「美瑛町共有ビジョン」を検討、取りまとめをされた皆さんに敬意と感謝の意を表します。以下に意見を記載します。</p> <p>(1)「ビジョン」という大きな構想で検討・取りまとめがされたが、7項目中6項目が生活環境・教育・個人に関するものであり、それは当然必要なことではあるが、その基盤となる経済活動に関する事項をより強調することが必要ではないか。そのことにより農業・商業・観光業に携る町民や金融機関に「ビジョン」の共有が図られるのではないか。また、文化・教養の醸成を図ることの重要性を今後政策への具体化の際考慮してほしい。</p> |
|-----|--|

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>(2) 人口減少に対し、自然減はやむを得ないが、人口流出の防止と転入者の増を図るためのビジョンも加え明文化すべきではないか。</p> <p>(3) ワークショップの体制については、公募による参加者と若手役場職員とのことだが、公募参加者の属性を個人情報に影響がない範囲で公表できないか。将来構想には若年者と共に、一定の経験を持つ現役の農業・商業等の従事者の意見も必要と考えるがどの程度反映されているのかを知りたい。</p> <p>(4) 今後、新たな総合計画は今回のビジョンが基盤となり、プロジェクトチームなどにより個別具体的に検討され立案・策定されることとなると思うが、現在及び数年後の状況を見ながら、修正を重ねて20年後の美瑛町を計画していただきたい。</p> <p>(5) 行政側が行う政策等についてのパブリックコメントは、意見を聞いたという体裁を整えることに使われることがままあるが、今回の町民コメントはそのようにはならないと思う。ただし、意見が出てこない、または少ない場合は、別の方法で美瑛町の将来について聞くべきと思う。例えば、職種・年齢・性別・居住年数等広い範囲からモニターを委嘱して今回も含め今後の政策等に対する意見要望を定期的に取り入れ検討することなどが考えられる。</p> |
| 町の考え方 | <p>(1) ビジョン作成のポイントの一つとして「ヌケモレ」がないかを確認することを重視しました。</p> <p>御意見のとおり、ビジョンはまちにとっての大きな構想となりますので、町に関連するあらゆる分野の目標を示す必要があります。ワークショップの過程では、SDGsの17目標や現行の総合計画、役場の組織図などを参考に、自ら作成したビジョンの一文と比較して、言葉の抜け漏れがないか、町民のどんな人が見ても自分事として捉えてもらえるかなどを意識しながら作成しました。</p> <p>経済活動に関する事項については、「豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち」や「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」の目標を作成する際に、町内のあらゆる産業において相乗効果を高められることや、新しく事業を起こすチャレンジができ、それを応援しあえること</p>   |

が重要であるという意見がありました。

御意見の内容につきましては、第7回ワークショップにて共有させていただき、「豊かな自然と共生し、エネルギーや資源を自給できるまち」の目標を見直して、経済活動に関する事項を強調する表現としました。

町としましても、域内経済循環を高めるための施策に取り組んでおりますが、ビジョンに向かうための具体的なプロジェクトを第2期ワークショップにて検討してまいります。

(2) 人口減少が地域に与える影響はとて大きく、本町においても昭和35年以降、人口減少が続いており、少子高齢化の進行、離農者の増加、就労の場の不足、若者流出による地域活力の低下など、様々な課題を抱えております。

ビジョンでは、「誰もが自らの可能性を伸ばせるまち」の目標を作成する際に、移住者への各種支援の充実に関する議論が行われるとともに、「子どもの個性を育み、全力で応援するまち」の目標を作成する際には、子どもや子育て世帯への各種支援の充実に関する議論が行われました。

また、町としても人口減少課題に対応するべく、「美瑛町人口ビジョン」「第2期美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「美瑛町過疎地域持続的発展市町村計画」の中で、具体的施策等を示しております。

(3) お見込のとおり、個人情報保護の観点から氏名のみの掲載とさせていただきましたが、参加者の中には町内で農業を営まれている方、商業・観光業に従事されている方など、現役で活躍されている方々にも多数御参加いただいております。

(4) 御意見のとおり、今回のビジョンは、美瑛町の「ありたい姿」を示したものであり、来年度策定予定の総合計画の柱として位置づける予定です。

また、第2期ワークショップでは、ビジョンに向かうために必要なプロジェクトを、新たなワークショップ体制にて検討していく予定です。

総合計画の策定作業は長期にわたりますが、より多くの町民の方々の意見を取り入れ、慎重かつ丁寧に議論を重ねながら、作業を進めてまいります。

(5) パブリックコメントは、まちづくりへの町民参加を推進する方法の一つとして実施しておりますが、過去の実績を見ると、御意見のとおり



|  |   |
|--|---|
|  | <p>提出される意見は少ないのが現状です。</p> <p>現在、本町では、町民自らが「自分たちのまちは自分たちでつくる」という自治の推進を目的として、「自治基本条例」の策定に向けた検討を進めています。町内の各団体から選出された方や、公募で選ばれた方などから構成される「美瑛町まちづくり委員会」の構成委員の中で専門部会を立ち上げ、まちづくりにおける「情報共有」や「町民参加」をテーマとした議論を進めており、「町民参加」の具体的な方法についても検討しております。詳しい内容は、町ホームページや広報、SNS等で公表しております。</p> |
|--|---|

⑦「美瑛町共有ビジョン」について

|       |  |
|-------|--|
| 御意見   | <p>今のタイミングで「町民コメント」する意味が解りません。</p> <p>(1) 何故、今なのか ※20年後のこと、もっと時間や手間をかけるべき。「第2次都市計画マスタープラン」を策定したばかり</p> <p>(2) 「美瑛町共有ビジョン」は、「まちづくり総合計画」そのものではないか ※「共有ビジョン」(素案)は「総合計画」の中の「目標」に過ぎない</p> <p>(3) 何故、「美瑛町共有ビジョン」(素案)の提示だけなのか ※総合計画の見直しの一環として、関係資料を提示してほしい</p> <p>1,000万円もの事業の内容は、提示された「共有ビジョン」(素案)だけではない筈です。委託業務の(1)～(3)に関する契約内容の公開を求めます。 以上</p> |
| 町の考え方 | <p>(1) 町民コメントは、まちづくりに関して、町民の意見、提案等を把握するため、必要に応じて実施されるものであり、今回は、ビジョンの完成に伴い、町民の皆さんに広く公表し、御意見・御提案をいただくために実施しております。</p> <p>ワークショップは約8か月間という長期にわたる開催となりましたが、活発な議論のもと、ビジョンの作成が進められるとともに、より多</p>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>くの町民の皆さんの声を取り入れるため、「町民インタビュー」を実施しながら、慎重かつ丁寧に作業を進めてまいりました。</p> <p>なお、「第2次都市計画マスタープラン」は、総合計画に基づき、土地利用、都市施設、面的整備等の計画を総合的・一体的に定めるものであり、都市計画法において、「市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針を定めるものとする」と位置づけられている計画です。</p> <p>(2) ビジョンは、来年度策定予定の総合計画の柱として位置づける予定です。</p> <p>(3) 御意見にある「1, 000万円もの事業の内容」については、令和3年度予算についての御意見かと存じますが、今回のワークショップにつきましては、令和2年度の繰越予算により実施しておりますので御承知おきください。</p> <p>情報公開につきましては、別途御相談いただきますようよろしくお願いいたします。</p> |
|--|--|

⑧「美瑛町共有ビジョン」について

|       |   |
|-------|---|
| 御意見   | <p>コロナ禍でワークショップ開催するのは大変だったことでしょう。</p> <p>7つの項目に分けたのは良かったと思います。20年後の未来像が私の年代ではわかりかねますが、今でも十分可能な内容と思います。大きな柱が出来たので、これからはどのように肉付けをして具体的にするのか楽しみです。</p> <p>どのような町であったら、住みたい、住み続けられるのか課題を見つけたのではなく、「こうなったらいいね」を見つけ具体化してください。</p> |
| 町の考え方 | <p>今回のワークショップでは、20年後のまちの「ありたい姿」を思い描きながら、多くの町民の皆さんの声を取り入れ、共感していただけるようなビジョンづくりを目指してまいりました。</p> <p>第2期ワークショップでは、ビジョンを目指すための具体的なプロジェクトを、引き続き町民の皆さんとともに検討してまいります。</p>  |